

クローバーだより



2023年9月22日
名古屋柳城短期大学附属
三好丘聖マーガレット幼稚園
水野 倫子



植育から始まる食育【喜びを土から】

保育の一環として植育…「植える」「育てる」体験をしています。自分の手でいのちを育てる。それはとっても大変なことです。「野菜を育てる」という毎日にちょっとした変化をくれる生活は、一緒に過ごした分だけいのちへの感謝、ふとした安らぎ、自然への好奇心など、まるでつながっているかのように私たちに色々なことを教えてくれます。無事に育ってくれた野菜を調理して美味しく食べる。いのちをいただく事は体だけじゃなく心も豊かにしてくれると感じます。育てることと、食べることはひとつながり。「植育から始まる食育」体験は、毎日の暮らしに生きる力と喜びを育みます。

♥2〜3歳頃の発達のポイント♥

*豊富な食物摂取

3歳までに20本の永久歯が生えそろういます。前歯で食材をかみ切り、奥歯で砕いてすり潰し、食物と唾液とを混ぜ合わせるなど、これまで以上にそしゃく運動が活発になり、豊富な食物摂取と食の体験が出来る様になります。



*おやつを楽しみに待つ

発育期の子どもは、1日に必要な栄養を食事と間食で摂取します。食事にはあまり関心を示さない子どもでも、おやつには全く別の様相を示し、食事とは異なる雰囲気の中で友だちと一緒に食べるおやつを楽しみに待つようになります。



*食材に触れる経験をする。

魚、肉、野菜、果物、米、乾物などの食材を目にしたり、触れたりする機会を通して『食』を意識するようになります。料理をする様子を見たり、野菜や果物に触れたりする事で、食材や調理する人への感謝の気持ちが育まれるように援助します。



*箸を使ってひとりで食べる

スプーン、フォークを3点持ちで使えるようになったら、箸を使い始めます。手指の発達は個人差があるので、一人ひとりの箸の使い方を確認しながら、食べる意欲を損なわないように進めます。繰り返す事で、器用に箸を使ってひとりで食べることも出てきます。



日本の伝統行事を伝えよう

近年、家庭や地域で日本の伝統行事にふれる機会が少なくなっています。そんな今だからこそ、子どもに伝統行事を伝えることは園の重要な役割です。伝統行事を知って、子どもに伝承していきましょう。

執筆/片岡章彦(大阪成蹊大学 准教授)

今月は…

お祭り

祭りは、神様への感謝を表す日本古来の伝統行事で、1300年の歴史があるともいわれています。「祭り(まつり)」の語源は「祀る(まつる)」という言葉です。「祀る」とは、神様に縁起が良いとされている飲食物などを供えて、神様を招き、霊を鎮めて(心を落ち着かせて)、お願いや感謝をするということです。祭りは、日本中の各地域に根付いており、伝統文化として関わることで、地域の絆が深まり、日常での助け合いなどにもつながっていきます。また、祭りの非日常的な経験は、日常生活に活気と豊かさをもたらします。



秋祭りとは？

日本には四季が織りなす豊かな自然があります。日本人は田畑を耕し農作物を育て収穫することで、自然の恩恵を受けながら生活してきました。日本人は全ての物に神が宿ると信じていたので、自然の恵みである秋の実り(五穀豊穡)に対しても、神様に感謝をしました。その、感謝を込めた祭りが秋祭りです。ちなみに春の祭りには、豊作の願いが込められています。



神輿(みこし)と山車(だし)の違いは？

神輿(みこし)は神様専用の乗り物で、人が乗ってはいけけないものです。神輿に付いている担ぎ棒を人が担いで動かします。一方、山車(だし)は神様の乗り物でもあり、神様をもてなす場でもあるので、人が乗っても構いません。台車が付いているので引いて動かします。山車のことを関西ではだんじりと呼びます。



豆知識

祭りの起源

祭りの起源は、神話である「岩戸隠れ」だといわれています。岩戸隠れとは、太陽の神である天照大神(あまてらすおおみかみ)が、天の岩戸に隠れたことで國中の光が失われたため、天照大神に岩戸から出て来てもらおうと、八百万(やおよろず)の神々が岩戸の前で踊ったり歌ったりとどんちゃん騒ぎをしたというお話です。そのどんちゃん騒ぎによって天照大神が岩戸から出てきて、國中に光が戻りました。このどんちゃん騒ぎが祭りの起源だといわれています。



屋台で人気のヨーヨーの作り方

- 紙パックの底と飲み口部分を切り取り、A、B、Cの3つに分ける。
- AとBの全ての角を1cm幅で切り落とす。
- Cに穴をあけて2本をつなげた輪ゴムを通す。ストローとセロハンテープでゴムが抜けないように留める。
- Aの中にBを入れて立方体を作り、Bが出てこないようにCをはめる。



《子育て相談》

自分の子育てにこれでいいのかな？と不安に思われた時、こんな時どうしたらいいのと思われた時にお話にいらっしやいませんか？保育経験者がお話しさせていただきます。お電話で予約していただき、ご都合の良い日を決めさせていただきます。

TEL 0561-36-8373 お電話お待ちしております